

学 校 名	江東区立南砂小学校
コーディネーター数	2人
ボランティア数	10人

□ 活動の概要

(1)「夏休みカルチャー講座」

夏休みの3日間、子供達が楽しく学べる活動をしたいと考えた。そこで、地域の方を講師に招いて、教室で「絵手紙」「工作」「手芸」「ボードゲーム」などの活動を行った。夏休み中であつたが、延べ100人の子ども達と保護者が参加し、思い思いの作品を作ったり、ボードゲームで遊んだり、楽しいひと時を過ごした。



(2)「植栽ボランティア」

団地の中の学校なので、校庭を花や木で自然豊かな環境にしたいと考えた。そこで、地域の植栽について詳しい方に、花壇の花を定期的に植え替えていただいたり、畑の整備などをしていただいたりしている。

(3)「飼育ボランティア」

生命尊重の教育実践のために、昨年度から飼育委員会を中心にウサギの飼育をしている。しかし、休日の飼育活動は、児童の安全面を考えると心配がある。そこで、地域の方に週休日や祝日・長期休業中にえさや水やり、小屋の掃除などをしていただいている。

□ コーディネーターの役割

- ①学校が必要としている活動の拡充・企画・立案を行う。
- ②活動の実施に向けて、学校と地域、ボランティアとの連絡や調整を図る。
- ③保護者や学校OB・地域内外から、取組や活動に適した人材を発掘し、交渉する。
- ④活動を振り返り、見直しを図ったり、今後の活動内容について検討したりする。

□ 活動上の工夫や配慮等

- ①学校の教育活動として適しているか、なぜその活動が必要なのか、活動のねらいをはっきりとさせて取り組むようにしている。
- ②PTA活動と支援本部の活動をきちんと分け、活動内容が重ならないようにしている。
- ③全校朝会で、コーディネーターやボランティアの方を紹介したり、学校便りで紹介したりし、児童や保護者に支援本部の活動について知らせるようにしている。

□ 活動の成果や感想（実践を通じた児童・生徒、地域の活動者、学校等の声や反応など）

今年度は、立ち上げ1年目で、活動内容や人材確保など手探りの状態で始めた。「夏休みカルチャー講座」は、とても好評だったが、予想を上回る参加希望があつたため、全員の希望に沿うことができなかった。来年度は、今年度の活動を振り返り、より良いものにしていく。

また、人材については、卒業生（高校生）のボランティアも何人か集まり、意欲的に活動の支援をしてくれた。今後は、幅広い層から人材を募り、活動内容の質を高めていく。